



世界へのプレゼントになろう

Rotary



CHINO



2015～2016年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「みつめ直そう！ひとりひとりがロータリー」

2015 — 2016 会長 矢崎 敏臣 幹事 加藤 宏治

Vol.11 1633 2015.9.16

会長挨拶

本日は伊勢原ロータリークラブの皆様、遠路お越し頂き有難うございます。心より歓迎申し上げます。折角いらして頂きましたので、茅野クラブの青少年奉仕活動の一つをご紹介しますと思います。

茅野クラブは東海大三高高等学校のインターアクトクラブを提唱してありますが、その他30周年の記念事業を契機として、茅野市における中高生の居場所である「CHUKO らんどチノチノ」の支援を行っております。昨年度行なわれましたIMにも、高校生のバンドに出演して頂いております。

茅野市は今から約13年前に、こども家庭応援計画（通称どんぐりプラン）を立ち上げました。このこども家庭応援計画の中で、中高生の支援が最も難しい分野となっておりましたが、茅野市は全国的にもまだあまり普及していなかった中高生の居場所の開設に踏み切りました。何故茅野市がこの施設を開設したかについては、「子どもの権利条約」が大きく関係しております。

約20年前の1994年、日本政府は国連の子どもの権利条約を批准致しました。この子どもの権利条約は第1条から第54条にわたるもので、4つの柱から出来ており、「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「参加する権利」となっております。このうち最近注目されているのが「参加する権利」です。これは、子ども達は自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、活動することが出来ます。その時には家族や地域社会の一員としてルールを守って行動する義務があります。この中で特に目を引くのは、第12条の「意見表明権」と第13条の「表現・情報の自由」であります。

「CHUKO らんどチノチノ」は子どもの意見表明又は表現の自由の場として、早くから全国に先駆けて誕生した先進的な施設であります。又、運営の基本は子ども達が自分のことは自分で行う自治の精神をベースにしております。この施設については毎年全国から50組前後、延300人の施設見学者が来場しておりますが、同じ様な子ども達に任せる施設は全国的にまだあまり多くありません。

昨年長野県は6月に「長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例」を制定しました。子ども自身の生きる力や育つ力が大人が受け止めて、これを支援していく条例です。この目玉は第11条の「子どもたちの社会参加への促進」と第12条の「子どもが安心して暮らせる居場所の整備」であります。長野県もやっと重い腰を上げました。

どんぐりプランの委員は、13年前に茅野市で一番にぎやかな場所に、子ども達が集う施設の設置をお願い致しました。街のにぎわいは大人ではなく子ども達が創設するものだからです。幸いにも、茅野市は全国でも早くこの問題に取り組みました。茅野ロータリークラブは30周年の記念事業として、この施設に支援を表明し今年で5年目となります。子どもは未来の茅野市を支える宝であります。どうかこれからも子ども達を温かく見守って頂くことをお願いしまして、会長の挨拶としたいと思います。

幹事報告

※別紙幹事報告書

伊勢原RCの皆様ようこそ

お客様

仲西栄治会長
友好クラブ委員 飯田隆三様、吉川芳郎様、荒巻哲朗様、松下孝様、小山博正様

○伊勢原市と姉妹都市の
茅野市長 柳平千代一会員の歓迎挨拶



○伊勢原RC 仲西栄治会長ご挨拶



当会員は現在55名、一時は30名ほどに会員が減ったが会員増強をした結果現在の会員数となった。現在若い委員が多くなったので会員増強にも活力があり、将来も期待できる。本日水曜日は当クラブの例会日だが、今週1週間は「夜間例会」ということで100%例会にしようと企画した。

卓話

2012～2013年度
青少年交換学生

松下奈央さんの近況報告



アメリカ、ペンシルベニア州キャンプヒル、ハリスバーグに留学させてもらった。今回は1人での渡航で、ワシントンDCの空港で1人で乗り継ぎをしなければならなかったが、成田空港で家族に見送られているときに最初のホームシックになったが、現地の空港にはRCとホストファミリーのお迎えがあり安心した。

最初のホストファミリーは、ロータリアンで弁護士と高校教師のお宅。お母さんが自分が通う高校の教師、そして、娘さんが同じ高校の生徒会長ということでホントに良かった。

2軒目は、キャンプヒルの市長のお宅。見たこともない豪華な家で、びっくり。両親とも弁護士。2人とも料理が好きで、おいしいものをたくさん作ってくれたので大分緊張が解けた。

3軒目は、ロータリアンのお宅。娘さんはRCの交換留学生でフランスに行っていたので、その部屋を使わせてもらった。3軒とも弁護士のお宅だったので「法律」に触れることができて良い経験になった。

「キャンプヒルハイスクール」は学年70人位の小さな高校。その高校の教師のお母さんと生徒会長のお姉さんのお陰で馴染むことができた。クラブ活動は、マーチンバンド、ジャズバンド、ミュージカルと音楽系のクラブ活動に参加した。ジャズバンドでは、ピアノ担当でワシントンDCの大ホールでの演奏会で「ピアノ賞」をもらった。

学校生活で分かったことは、とにかく英語を使わなくてはいけない、ということ。4ヶ月位経ってからは、間違ってもいいから英語で話そう、と心掛けた。また、6ヶ月位したら初めて英語で夢をみることもできた。英語で夢が見られたら1人前だと言われていたので、うれしかった。3泊4日のRYLAキャンプにも参加させてもらって楽しかった。同地区には13人の留学生がいて、この仲間が1年間の収穫で、現在も交流が続いている。

最後の7月に「アメリカ横断ツアー」に行ってきた。この時期にはもう英語で日本語を介さず理解できるようになっていて本当にうれしかった。シカゴのロータリー本部にも立ち寄った。

帰国後、「高校生英語ディベート大会」に参加し、71校中7位となることができた。課題を与えられて10分後に始める部門では優勝できた。このときは「アメリカに行ってきたなあ」と本当に思った。高校4年生としてまた楽しい学生生活を送った。現在、東京外国語大学言語文化学部トルコ語学科に進学し世界史を学んでいる。アメリカで学んだことは「自分から行動しなければ何も始まらない」ということ。

最後に「こんなにたくさんの経験をする機会をくださった茅野ロータリーの皆さんに本当に感謝しています。」

ロータリーミニ情報

～「ロータリークラブの創始者ポール・ハリスの生い立ち」について～

渡辺健太郎 会員

ポール・ハリスは1868年（明治元年）4月19日米国ウィスコンシン州で生まれた。ポール・ハリスが3才のとき父が商売に失敗して夜逃げ同様に母方の実家ウオーリング・フォードへ引っ越した。しかし父はどこかに雲隠れしてしまった。残されたポール・ハリスは祖父の許で育てられた。祖父からは勤労の倫理と寛容な心の大切さを教えられ、祖母からは清潔さや思慮深さを身を以て教えられた。こうしてポール・ハリスは祖父母に大事に育てられた。続きは次回に。



○友好クラブ担当委員長 飯田隆三様ご挨拶

台湾高雄東南RCと友好クラブだが、国内にはないので検討しているところ。姉妹都市だがRCの交流はなかったが、まず最初に訪問させてもらった、ということ。できれば友好クラブとして将来お付き合いできればと思っている。是非よろしく願いたい。



ニコニコBOX

人数

20人

金額

37,000円

◎伊勢原RC仲西栄治会長他5名 本日は大勢でお邪魔いたしました。宜しくお願いします。

◎柳平千代一市長 お久しぶりです。伊勢原市さん、ようこそ！

◎矢崎敏臣会長 仲西会長をはじめ伊勢原RCの皆様、遠路ご苦勞様です。心より歓迎申し上げます。

◎竹村一男会員 無事、地鎮祭が行なわれ、一生の中で一番大きな買い物をしました。

◎北原重信会員 芳澤建設さんよろしく申し上げます。

伊勢原RCの皆様ようこそ。

出席報告

会員数 57名

出席 45名

出席率 79%